

令和元年9月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和元年9月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和元年9月27日（金） 13時30分～15時10分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：庭野委員、吉楽委員

（2）議決事項

① 議案第1号 十日町市小中一貫教育連絡協議会設置要綱の一部を改正する告示の制定について

蔵品教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・第8条に職務上知り得た秘密については漏らしてはならないとなっている。委員の任が解かれた後も同様であるとしてあるが、プライベートな内容が話し合われるのか。どのようなものが漏らしてはならない内容になるのか。

山本学校教育課長

- ・協議会で話し合われたこと全てが秘密なのではなく、個人が特定されるような情報や保護されるべき情報が漏洩しないように、という注意書きであると解する。

（以上の質疑のあと決定した）

② 議案第2号 十日町市教育委員会学区外・区域外就学許可要綱の一部を改正する告示の制定について

蔵品教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・旧松之山町で取り組んでいた山村留学は、保護者の居住は東京都などで、子どもを

受け入れた場合にはこの要綱が適用されるのか。

山本学校教育課長

- ・区域外就学として、相手方の教育委員会と協議のうえで適用される。

(以上の質疑のあと決定した)

③ 議案第3号 十日町市教育相談センター適応指導教室運営要綱の制定について
蔵品教育長

- ・議案第3号を上程し、事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・適応指導教室の現状の利用者は何人か。

山本学校教育課長

- ・10人を若干越えている。今までは中学生の利用者が多かったが、小学生が増える傾向に変わってきている。

(以上の質疑のあと決定した)

④ 議案第4号 十日町市社会教育・公民館活動のあり方検討委員会要綱の制定について

蔵品教育長

- ・議案第4号を上程し、事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・地区公民館は、その地区独特の歴史があって、公民館の業務に都市交流事業が入っていたりいなかったりするので、そのバランスをどうするのか。各公民館で取り組んできた事業をどの程度整理するのか。

鈴木生涯学習課長

- ・地区公民館はあるが分館のない地区もある。また分館の数も少ない状況があり、まずは分館のあり方を考える。地区公民館は、地区の中心的な役割の組織であって、地域コミュニティの中で地域課題を抱えて、地域おこし協力隊や地域支援員との協力関係がある。今までの地区公民館の活動が、大きく変更することはないと思われる。地区公民館ごとに特色を出して、市内10の地区公民館を全部一緒にしない方がよいのではないか。地区公民館が削減される心配はないと思う。

蔵品教育長

- ・公民館の特色ある地域活動を削ろうという発想では無い。

庭野委員

- ・今年度は、臨時職員を減らしているのに、徐々に業務を縮小するのではないかと。また、地域自治組織との兼ね合いがどうなるのか。

鈴木生涯学習課長

- ・地域自治組織の方も検討委員会のメンバーに入るので、後ほど報告したい。

蔵品教育長

- ・地域自治組織のエリアと公民館のエリアが一致していない地区がある。これからの行政課題であろう。

吉楽委員

- ・あり方検討委員会での検討の方向は、基準の見直しと地区公民館及び分館の統廃合が、ひとつの合理性だと思うが、新しい取り組みは議論されるのか。

鈴木生涯学習課長

- ・県内の状況について、減免基準を確認し、市民アンケートに盛り込むなどしたい。分館等についても、利用状況を確認しながら、本来公民館がすべきことは何なのかを検討する。地区割りで委員を選出していることから、十日町市として、また地区公民館としてのやるべきことがまとまってほしいと願っている。県内13市から自慢できる活動を挙げてもらったところ、何れの市も同じような状況であり、目立ったものは無かった。

庭野委員

- ・昼間の公民館の利用者は、ほとんどが女性であり、たまに男性が参加するがすぐ辞めてしまう。中高年の男性をどう引き込むかが一番の課題ではないかと思う。

佐藤委員

- ・地区に公民館を無くさないでほしい。

蔵品教育長

- ・旧町村の地区公民館を無くすということではないと思う。

鈴木生涯学習課長

- ・委員の考えなので何とも言えないが、分館が無い地区では集会所等で活動している状況があることから、分館については検討してもらいたい。地区公民館については、各館が一生懸命活動しているが、内容をしっかり見てほしいと思う。

浅田委員

- ・地域の活動の場所なので、無くさないでほしい。男性の利用が少ないとのことだが、女性は元気なので女性が連れ合いを引っ張り出すようになればいいと思う。

(以上の質疑のあと決定した)

- ⑤ 議案第5号 越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」実施要綱の一部を改正する告示の制定について

蔵品教育長

- ・議案第5号を上程し、事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・教育委員会が特に必要があると認める場合とは、具体的にはどのようなことか。

鈴木生涯学習課長

- ・チケット販売の際に、チラシにチケット枚数を記載できるようになる。基本は2枚だが3枚、4枚などとする方法を考えている。現在会員が、個人340人、企業33社である。

(以上の質疑のあと決定した)

(3) 報告事項

① 共催・後援等報告

- ・資料のとおり

(特に質疑等なく了承した)

② 報告第1号 十日町市社会教育・公民館活動のあり方検討委員の委嘱について 蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

③ 報告第2号 クロアチア共和国テストイベント事前キャンプについて 蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・皆さんが参加してくれた。また機会があれば取り組んでほしい。

庭野委員

- ・競技団体でも、オリンピックの室内競技のチケットは手に入らないようだ。服部勇馬さんのマラソンは応援に行けそうなので、陸上競技協会などと応援体制を計画してほしい。クロアチアの応援は、パブリックビューイングなどを考えるのか。

吉楽委員

- ・マラソン開催は夏の早朝なので、屋外のパブリックビューイングをしてはどうか。

一人で見ているよりは一体感や盛り上がりが違うので良いと思う。

庭野スポーツ振興課長

- ・クロアチアの選手団は、まだオリンピック出場が決定していないが出場を前提として、パブリックビューイングは行う必要があると考えている。服部勇馬選手については、既に十日町市陸上競技協会及び私設応援団の援馬隊と連携しており、第1弾は、段十ろうでパブリックビューイングを実施し、第2弾として懸垂幕を市保健センターと中里支所に掲出した。服部勇馬選手所属のトヨタ自動車長距離陸上部と連絡を取っており、子どもたちが喜ぶような、また服部勇馬選手が頑張るという思いになるようなイベント等が近々できれば良いと考えている。決まったらお知らせしたいと思う。

庭野委員

- ・服部兄弟を育てた東洋大学の酒井監督の講演会ができないものか。できればムードが変わると思うので、ぜひコネクションを使って実現してほしい。

(以上の質疑のあと了承した)

(4) その他

- ① 「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」の説明会の概要
- ② 最近の動きについて
 - ・各部長、各課長等が資料に基づき説明
- ③ 10月の主な行事予定について
 - ・資料に基づき説明
- ④ 次回の教育委員会の開催日時
 - ・10月定例会 29日(火) 13:30～ 川西庁舎 第1研修室

以上で、15時10分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記